

日(曜)	時刻	水位 cm	流速 目視	流量 m <sup>3</sup> /分	雨量 mm	気温 °C	水温 °C	PH	電導率 マイクロS	その他(生物、透視度等)					
										ア	オ	ザ	ス	その他	
1	土	18:25	19.6	良流			20.8	22.8	7.0	200			10		ドジョウ大1
2	日	18:15	19.4	良流			20.5	21.2	7.0	210			7	2	カルガモ2
3	月	18:45	19.3	良流			21.3	22.8	7.1	200			7	1	ヌマエビ1
4	火	18:55	19.0	良流			20.7	23.3	6.9	240			13		ヌマエビ2 ドジョウ1
5	水	18:00	18.7	良流			22.4	22.4	7.0	220			11	4	ヌマエビ1
6	木	18:40	18.2	良流			24.3	25.3	6.9	210			7	4	
7	金	17:55	45.2	泥流		27	19.1	20.2	7.1	54					—
8	土					1									— (外出)
9	日					13									— (外出)
10	月	17:15	98.5	泥流		53	16.0	16.5	7.2	31					—
11	火	18:55	25.2	良流		36	17.5	19.6	6.8	230			12		ヌマエビ1
12	水	19:00	23.1	良流		11	19.3	19.5	6.9	230			5		ヌマエビ1 タモロコ1
13	木	18:50	22.1	良流			20.5	23.6	7.0	210	1		10		
14	金	18:30	22.0	良流		0	20.7	23.1	6.9	210	1		11		
15	土	18:10	32.2	泥流		63	16.5	17.5	6.9	75					—
16	日	18:55	25.0	良流		11	24.5	22.0	7.0	210			3	1	
17	月	18:50	24.9	良流			22.3	23.3	7.1	—			5		ヌマエビ2
18	火	18:40	23.4	良流			22.1	23.1	7.1	200			9		ヌマエビ1
19	水	18:25	22.9	白濁			23.3	24.5	7.0	210	1		19		ヌマエビ1 タモロコ1
20	木	18:20	23.1	良流			22.8	23.6	7.0	210			10	1	ヌマエビ2 タモロコ1 ヤマガラ2
21	金	17:10	23.6	良流			24.5	25.2	7.1	220			11	1	ヌマエビ3 シジュウカラ1 ヤマガラ2
22	土	17:50	31.2	薄泥流		10	21.4	21.9	7.1	113					— ヤマガラ2
23	日	18:40	21.6	良流		1	20.5	20.1	7.0	210			13		アオサギ1 カルガモ1
24	月	18:20	25.6	薄泥流		42	19.5	20.9	7.0	94			11		ヤマガラ2
25	火	18:55	23.2	良流			21.5	23.6	7.1	210			19	1	ヌマエビ1 カルガモ1
26	水	18:35	22.3	良流			24.1	24.9	7.2	210	1		12		ムクドリ(多)
27	木	18:55	21.9	良流		1	24.0	22.9	7.2	210			21		オナガ1
28	金	19:00	21.6	良流		7	25.3	25.6	7.1	128					— カルガモ(糞)
29	土	18:30	22.2	薄泥流		11	21.2	21.3	7.0	113					—
30	日	18:35	25.5	良流		32	24.6	22.0	7.0	187	1		7		ユスリカ1 コオニヤンマ1 (ボーイス活動)
計			26.7	良流 <sup>21</sup>		319	21.5	22.2	7.0	179	5	0	233	15	タモロコ3 ドジョウ2 ヌマエビ16 コオニヤンマ1 ユスリカ1

特記

降雨日が16日もあり、降水量も多く水位は総て18cmを越え過去最高であった。それに伴って1、2月の干上りで極端に減っていた水生生物が復活しつつある。しかし最も多く戻ったのはアメリカザリガニやヌマエビなどの甲殻類であり、この川を代表するオイカワは0であり、アブラハヤも少ない。水辺の野鳥を代表するカワセミも5月18日以降姿を現していない。中橋下流のワンドは今年3月埋め立てられ、ホテルの放流は叶わなくなりました。再生の可能性はゼロではなかっただけに非常に残念である。今年オオブタクサはとて少ない。ここ数年の結実前の徹底した除去が功を奏したのであろう。